

山 市議団週報



No.117

23. 5.18

日本共産党

郡山市議団

郡山市深沢2

丁目 10-12

☎922-3801

☎932-1903

トップは、無料検査・治療の継続

新型コロナウイルス対策

アンケートでは、新型コロナウイルス感染症対策で「何が必要か」を聞いています。トップは、「検査、治療の拡充と無料継続」で1421人です。「治療薬の開発普及」(1245人)、「医療・介護・子育て施設等の現場への支援」(937人)と続きます。5月8日から新型コロナウイルス感染症は5類へ引き上げとなり、ワクチン接種は無料ですが、検査、治療は有料となります。市民の声を全く無視するような国のコロナ対策は許せません。

保育料も、全年齢で無料化を！

子育て支援策

子育て支援策では、「学校給食費の無償化」(1322人)と並んで、「保育料の全年齢無料化」(1268人)がトップの要求です。大学・専門学校

世界に知れ渡った日本政府の言論抑圧

米誌タイム5月22・29日号が、岸田首相の特集記事を掲載した。表紙では、「日本の選択」と題し「岸田氏は数十年にわたる平和主義を放棄し、日本を真の軍事大国にすることを望んでいる」と書いた。しかし、11日に電子版が公開されると、日本政府はこれに「表紙の説明と本文の内容が違う」といちゃもんをつけ、説明の文章を変えさせた。底意地の悪そうな顔に写っている写真も取材時に取られたものだ。と政府が認めたように、記事は取材を基に構成されたものだ。記事は、米国の要請を受け「岸田氏は、世界第3位の経済大国(日本)を、それに見合った軍事力のある大国にしようとしている」と分析、中国の軍事演習に対抗するため「昨年12月に第二次世界大戦後、最大の軍拡を公にした」と「安保3文書」に触れている(12日付け赤旗より)。これを「平和主義を放棄し」「軍事大国に」しようとしているとまとめることが、一体どこが間違っているというのか。

16日(火)の羽鳥慎一モーニングショーは、この話題を取り上げた。当然、日本政府の態度を問題にするのかと思ってみたら、コメンテーターの菊間氏をはじめ、日本政府の対応を是とする意見を述べていた。「多くの人は違和感を持つ」とまで言って、タイムの電子版の記述を批判したのだ。観ていて、私は大きな違和感を持った。岸田政権のやったことは、完全な言論抑圧だろう。同じモーニングショーでタイムの読者は世界で1億人いると紹介していたが、おそらく多くは電子版を見るのであろうから、すでに世界に配信されたものの文言を訂正させたところで、時すでに遅いのではないか。日本の岸田政権というのは、こんなくだらないことで言論抑圧をするのだということが世界に明らかになってしまっただけだ。そして、それに加えてメディアさえも、政権に右倣えの体たらくであることも。

生等の返済不要の奨学金新設」(1006人)が続きます。小中学校の給食費は、今年度完全無料となりましたので、次は3歳未満児や給食費を含めた保育料の無料化が求められます。

国民年金で入所できる介護施設を！

高齢者支援策

高齢者対策として、トップは「国民年金でも入所できる高齢者介護施設」(1533人)です。「路線バス無料制度の実施」(1200人)、「70歳以上でも希望すれば働ける場の創設」(1181人)、「バス・タクシー券の利用年齢拡大」(888人)が続きます。

高齢者支援は、日本の劣悪な社会保障制度の中でも最も軽視されている分野です。介護保険という保険料を負担しながら、介護施設への入所さえ郡山市で1000人以上の待機者がいるのが現状です。